

【災害時のタクシー無線の強靱化】

無線基地局「折り返し通信装置」の整備

～ おきなわTOWER無線基地局の通信機能の強化 ～

当センターでは、非常災害時に24時間営業しているタクシーの特徴を生かし、災害発生時の情報の収集・伝達手段にタクシー無線を役立てるため、同センターの集中無線基地局「おきなわTOWER（弁ヶ岳）」に設置された基地局を経由したタクシー（移動局）間の音声通信を可能とする「折り返し通信装置」を那覇はじめ南部地区一帯でタクシー事業を展開するパンダ無線（代表玉寄兼志）に整備しました。

全国初の整備で、災害時の情報収集・伝達手段として役立つことが期待されています。

タクシー無線は、通常、配車室とおきなわTOWERに設置した基地局を専用回線で繋ぎ、タクシー（移動局）との通信を行っています。

同システムは、台風や災害で専用回線の障害や遮断された場合に制御装置を搭載した指令車両から制御信号を送り、「音声折返し装置」を起動し、タクシー（移動局）間の音声通信を可能とし、非常時の通信を確保するものです。また、「おきなわTOWER」は、非常用発電機を備えており、停電の場合でも常時タクシーとの通信は確保できる仕組みとなっています。

地域公共交通機関としてタクシーの特徴を生かし、災害発生時、道路の寸断や災害発生エリアの情報がいち早く把握することができ、非常時の通信機能の確保策の一つとして、期待が寄せられています。

自治体等との災害時協定等が進む中、被災状況等の情報収集、伝達手段として地域貢献に大きな役割を果たします。

（一社）沖縄総合無線センターでは、今後、「おきなわTOWER」を利用するタクシー事業会員へ順次整備を進めていく方針です。

